

平成 31 年度 事業計画

第1 シルバー人材センターを取り巻く環境

大阪府における平成 31 年 1 月末有効求人倍率は 1.78 倍と「現下の雇用失業情勢は、着実に改善している」となっており、雇用情勢が大きく改善する一方で、企業における人手不足が顕在化しており、ハローワークへ求人を出しても中々充足しない状態が続いています。

このような中、ここ数年 65 歳以上の求職者が増えているものの、非正規を選択している求職者が多く、男女とも「自分の都合の良い時間に働きたい」といった理由から非正規を選択する労働者が増加傾向にあります。

そして、地域においては高齢者世帯や単独世帯への支援、子育て・介護支援等への取組み、空き家等の適切な維持管理への対応など、これまで以上の充実が望まれているところです。

そのような中で、昨年 12 月の「労働施策基本方針」における、多様な人材の活躍促進の中の「高齢者の活躍促進」では、「働く意欲がある高齢者がその能力を十分に発揮できるよう、多様な雇用・就業機会の確保を図り、都道府県や市町村をはじめとする地域の様々な機関が連携して、地域における高齢者の就業機会を創る取組みや、シルバー人材センターによる就業支援の強化を通じて、高齢者の多様な就業機会を提供する」となっています。

このように、高齢者の労働力としての拡大が強く求められる中、就業を通じて高齢者の福祉の増進に資するシルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）の重要性と各拠点シルバー人材センター（以下「拠点センター」という。）はこ

これらの期待に応えるため、シルバー事業の「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的に、事業推進に取り組んでいきます。

第2 シルバー人材センター事業

1 会員拡大の推進と支援

地域の期待に応えるためには、会員の拡大が不可欠であり、マスコミ媒体等を活用し、シルバー人材センター（以下「センター」という。）の理念と事業を幅広く広報し、イメージアップを図り、会員拡大を支援します。

特に、「福祉・家事援助サービス事業」、「介護予防・日常生活支援総合事業」等、女性会員の就業分野が期待できることから、積極的な取組みが求められるところ
です。

また、第2次中期計画による目標数は平成33年度60,600人としているところ
ですが、PDCAサイクルにより管理を行い、会員拡大への取組みを強化するもの
の、急速に変化する社会経済状況等に対応するため、見直しを行います。

2 安全・適正就業の促進

「安全・安心なシルバー事業」の展開は、事業遂行の上で根幹をなすものであり
組織を挙げて安全対策を第一に、引き続き強力な取組みの推進を図っていきます。

大阪府の状況をみると、事故件数は増加傾向にあり、請負・委任事業はもとよ
り、派遣事業にかかる事故も多くなってきており、就業中の不注意等による転倒、
途上においては自転車によるものが多くなっています。

このため、安全・適正就業委員会を開催し「安全・適正就業年次計画、事故報告、
安全・適正就業推進会議」を開催するほか、就業現場へのパトロールの実施、更に

安全就業に対する情報提供を行い、意識の高揚を図ります。

そして、安全就業の基本である健康管理を徹底させるため、会員自ら健康診断を受診するよう周知徹底します。

会員の一部に長時間就業が見られるため、法人として不適切な就業の根絶に向けた取組みとして、指導、助言を実施します。

3 普及啓発事業の推進

年間を通じてシルバー事業の意義を地域社会に広く周知するとともに、10月の普及啓発月間を中心とした経験交流大会やシルバーフェアの開催、ボランティア活動の実施など、大阪府シルバー人材センター協議会（以下「大シ協」という。）と拠点センターとの連携のもと展開することとします。

また、シルバー事業のより一層の周知広報に努めるため、記者提供及びホームページの拡充を図ることなどにより、新規会員の加入促進や就業開拓・促進を図ることとします。

4. 福祉・家事援助サービス事業の推進

我が国の少子高齢化は急速に進展しており、昨年8月には総人口1億2,649万人のうち、65歳以上の高齢者は3,551万人（全人口に占める割合は28.1%）となり、4人に1人以上が高齢者という超高齢社会を急速に迎えました。

平均寿命において、諸外国と比較しても最長寿国の一つとなっており、平成29年度厚生労働白書によりますと、65歳以上の高齢者を含む世帯は、全世帯4,995万世帯の内2,417万世帯と48%を占めており、このうち、夫婦のみの高齢者世帯は753万世帯、単身高齢者世帯の656万世帯をあわせると1,409万

世帯と、2,417万世帯の58%が高齢者だけでの世帯となっている状況です。

そのような中、大阪におけます拠点センターへの福祉サービス受注件数は対前年比1.68倍の5,986件、家事援助サービスは1.15倍の6,795件と利用状況が増えています。

シルバー会員の方が共働・共助の理念を踏まえて頂き、介護や家事援助を必要とされている高齢者等に対して、支えていく事業として進めます。

5. 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業及び高齢者活躍人材確保育成事業

「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」については、平成31年度予算概要から、人手不足分野等の業務に使いやすい補助金となっており、交付基準も見直され、これらの情報提供等を支援していきます。

また、平成31年度から「確保」が入った「高齢者活躍人材確保育成事業」では、シルバー事業の周知・広報から新規会員への取組みと、就業体験・技能講習等を行い、地域の人手不足問題の解消を図っていきます。

6. シルバー派遣事業及び有料職業紹介事業の実施

シルバー派遣事業については、拠点センターの努力もあり、対前年度大幅な伸びを示しました。

引き続き拠点センターと大シ協の連携のうえ、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の積極的推進、また、適正就業ガイドラインの周知徹底を図ります。

7. 関係行政機関・関係諸団体との連携

大シ協及び拠点センターにおけるシルバー事業がより円滑かつ効果的、効率

的に事業運営が図られるよう、全国シルバー人材センター協会、大阪労働局、大阪府はもとより、その他関係行政機関及び経済団体等からの情報収集・提供をはじめとする連携を積極的に行っていきます。